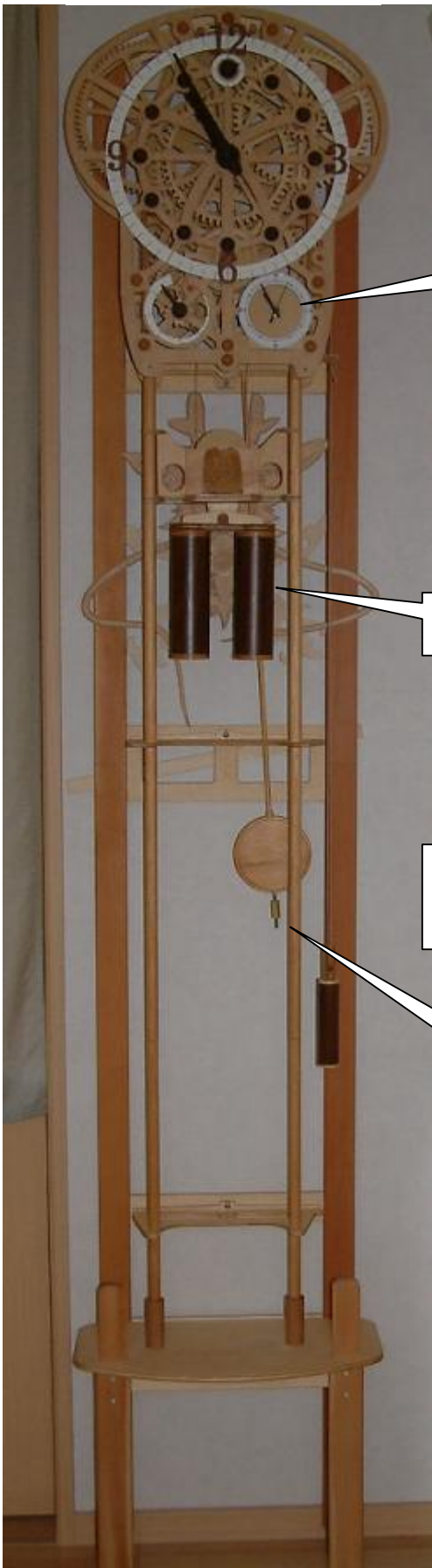
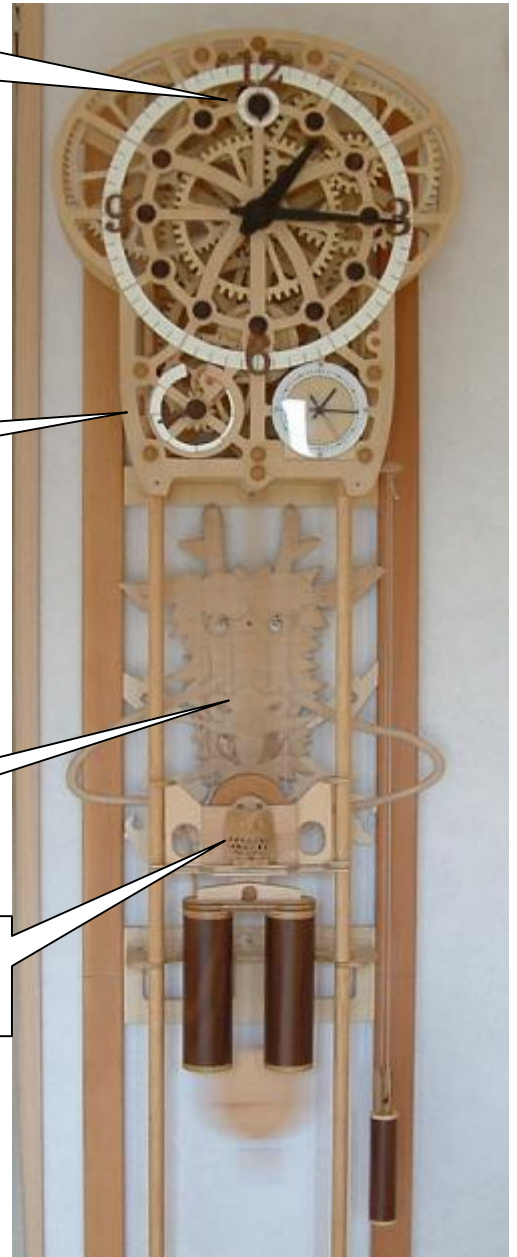


## 振り子時計準試作機詳細

全体（架台取り付け）



架台バック模様



秒表示  
マークが回転

電波時計

動力残表示

錘ブロック

龍浮き彫り

フクロウ透かし彫り  
既製品取り付け

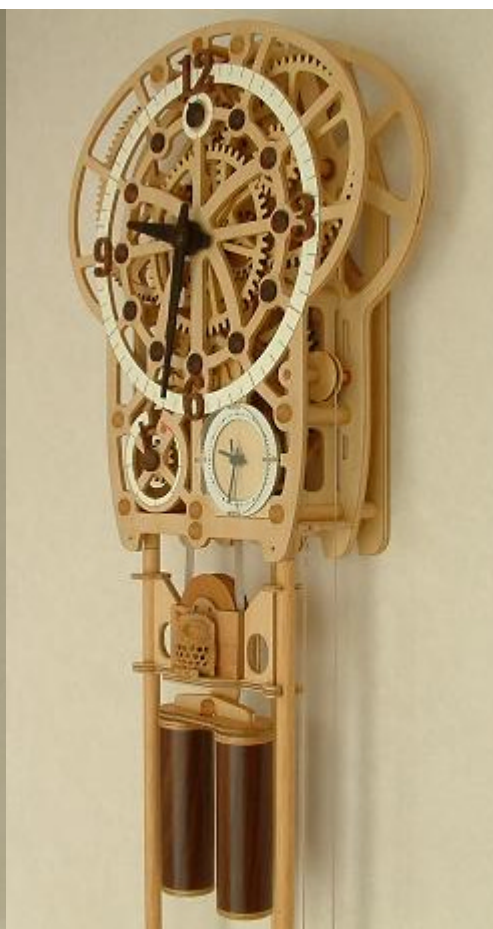
錘ガイド

本体は架台に取り付け固定し、架台は上部で1箇所、転倒防止のため壁に固定します。  
架台の足は、高さ調節のネジが設けられていて、本体の垂直取り付けを実現するための、全体の傾き調整ができるようになっています。  
架台の龍の浮き彫りは厚みが少なく素人ですので形のみでお遊びで、出来は良くありません。錘ブロックにつけたフクロウの透かし彫りは、旅先で土産に購入したもので、出来は良いです。

本体のみの壁取り付け



架台のみ



本体のみの壁取り付けの場合は主要部の上下の2箇所と、ガイド部の真中と下の計最低4箇所の壁への固定が必要です。

本体部の垂直取り付けは重要です。1～2度傾くだけで振子の動作が不安定になり、場合によっては停止します。特に湿度の高い場合に顕著になります。